

第1回多治見市地域包括支援センター運営協議会議事録

日 時：平成29年7月26日（水）

13:30～14:30

場 所：精華地域包括支援センター 2階

出席： 荒木登志枝委員、小栗武仁委員、後藤達彦委員、谷加代子委員、橋本和夫委員
長谷川洋子委員、三原理智委員、山田隆司委員、山中克仁委員
(アイエオ順)

欠席： 小鞠清子委員

事務局

高齢福祉課：杉村課長、加藤リーダー、前田リーダー、河地、早瀬

社会福祉協議会 地域福祉課：澁谷課長

精華地域包括支援センター：森

事務局

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から平成29年度第1回多治見市地域包括支援センター運営協議会を開催します。

会議に入る前に、お知らせがあります。資料Aにありますように、委員の変更がありました。歯科医師会代表のたきろ歯科医院の渡辺博貴先生に代わりまして、ステーション歯科たじみの三原理智（みはらりち）先生となりましたのでよろしくお願いいたします。では、三原先生より一言お願いします。

委員
課長
委員
課長

—自己紹介—

その他の委員の方からも簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。

—自己紹介—

本日は東濃保健所の小鞠委員が欠席です。では、資料の確認をさせていただきます。資料A及び1～6まで事前に配布させていただきました。本日は、レジメと資料5を配布いたしました。資料5につきましては、事前にお配りしたものと差し替えをお願いします。

それでは、ここからの進行は会長をお願いします。

なお、本日の会議の議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認いただいてから委員名は公表せずホームページ上で公開させていただきます。よろしくお願いします。

会長

これより議題に入ります。議題1. 地域包括支援センター平成28年度事業報告について事務局から説明をお願いします。

事務局

—資料に基づき説明—

資料1 平成28年度多治見市地域包括支援センター事業報告

資料2 平成28年度多治見市高齢者支援センター事業報告

会長
委員
事務局

事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

地域包括支援センターは市民の方に知れ渡っていますか。

広報で周知する他に、民生委員の定例会や福祉委員会、悠光クラブ連合会等でお知らせしています。足を運んでPRしています。

委員

毎月、見守りかわら版が包括から発行されるので回覧しています。包括の連絡先なども入っています。

委員	そこにも漏れてしまう人がありました。私のところに寝たきりの高齢者が紹介されてきました。家族がいましたが、社会の恩恵を受けてないようでした。笠原包括が介入し、医師に診ていただきどこかに入所となりました。
委員	社会から孤立してみえるのですね。
委員	具体的にどのような相談があるのですか。
事務局	介護の相談になりますと、制度についての相談や体力が落ちてきたのでどうしたらよいか、介護保険の申請をしたい、市内の施設について教えてほしいなどあります。また、民生委員からは、見守っている方が少し体調不良となっているので訪問してほしいという相談もあります。健康や病気については、介護予防で何か実施したいが紹介してほしい、病気があるがどこにかかったらよいかなどの相談もあります。
会長	身近な関係者が包括の存在を知っていて、問題があった時に包括につながれるとよいです。
委員	中学校における認知症サポーター養成はどのようなことをされますか。
事務局	平成 28 年度は 6 校 20 クラスで開催しました。認知症の症状などの基礎知識やDVDを見ながら認知症の方への対応を学習し、グループワークでは自分たちは何ができるのかを考えました。
委員	認知症サポーターは何人みえますか。
事務局	はっきりした人数は資料がなく本日お答えできませんが、昨年度は 47 回開催し 1 回あたり 10 人から 30 人の参加者でした。中学校で開催の他、地域の福祉委員さんや民生委員さんを対象に開催したりしています。また、郵便局さんや銀行さんからの依頼もあり、多くの場面で開催していきたいと考えています。
委員	ケアマネの日常業務に関する個別相談もかなりありますが、どのような相談ですか。
事務局	主に困難事例です。ケアマネさんが抱えている方は、問題が多すぎてどうしたらよいのかと相談があります。その方に関係している方たちを集めて地域ケア会議を開催します。市職員、ケアマネ、町内、民生委員などでどうしたらよいのか解決の糸口を見つけるために話し合います。
委員	解決しますか。
事務局	すぐに解決はなかなか難しいです。時間をかけて解決に向けて行っています。
会長	その他意見等ございませんか。
	―他に意見なし―
	それでは、次の議題に入ります。
事務局	議題 2. 平成 28 年度地域包括支援センターの評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	昨年度までは、各地域包括支援センターが自己評価したものを運営協議会に提出していました。外部の目、利用者視点で利用者の満足度部分の評価を行う必要があるのではないかとご意見をいただきました。事務局としましても外部評価の必要性を考慮し、今年度は、運営協議会の委員さん 1 名と事務局 1 名の合計 2 名で各包括を訪問しヒアリングを行いました。
会長	では、太平地域包括支援センターからお願いします。
事務局	―資料 3 に基づき説明―
	太平包括は、福祉センター内にあるため、圏域外の相談も多く、一旦話を聞

	き他の包括等へつないでいます。認知症地域支援推進員がいることもあり、認知症サポーター養成講座をはじめ、認知症関係の事業を多く実施しています。今後、スーパーやコンビニ等でも開催できるようアプローチを検討したいと課題をあげています。
会長 委員	外部評価を行った委員をお願いします。 業務の多さにびっくりしました。病院とのコーディネートや権利擁護の仕事などあらゆる仕事があり、利用者の満足度というところのくらい応えていけるのかなと思いました。仕事の整理をしないといけないと思います。
会長 事務局	続いて、滝呂地域包括支援センターについてお願いします。 滝呂包括は、自己評価で◎を多くつけてみえます。地域社協や区事務所との情報交換、連携を密にし地域資源のマップ作りに取り組んでみえます。包括の周知を飲食店、コンビニ、ドラッグストアなど多様な場を検討したいと課題をあげてみえました。
会長 委員	外部評価を行った委員をお願いします。 他の包括の自己評価を見ていなかったもので、このような評価になりましたが、5つの包括の中である程度基準がないといけないと思います。 総合相談支援については、地域の商店や飲食店にパンフレットを置いているということで◎としました。権利擁護では専門家を招いて講座を開催したということで◎としました。包括的・継続的ケアマネジメント支援事業では、在宅医療介護連携において医師・ケアマネジャーとの連携シートを作成したところで◎としました。介護予防ケアマネジメント事業については、介護予防教室を20回開催し月1回以上の開催であったことから◎としました。認知症対策については輪い話しカフェに毎月参加しているところで◎としました。
会長 事務局	続いて、南姫地域包括支援センターについてお願いします。 南姫包括は、困難ケースや介護予防教室等において北栄高齢者支援センターとの連携がしっかり行われています。地域ネットワークづくりについて、サロン等団体の活動は把握できているが、その団体の抱える問題把握や支援には至っておらず、地域支え合い活動の創設につながるように支援していきたいと課題をあげてみえました。
会長	私が外部評価を行いました。南姫包括は一定の業務はできていますが困難事例も持ち込まれています。困難事例なので包括だけでは解決できないです。解決できなくてもそのプロセスがあれば充分包括支援センターとして機能はしていると思います。全般的によくがんばってくれています。南姫だけでなく他の包括も、そこまでがんばって疲れ切ってしまうか心配になりました。法人さんのフォローが大切だと思います。ケアマネさんが困りますから。△をつけたのは、在宅医療介護連携への取り組みで、市民への普及啓発には至っていないということだったので△にしました。
事務局	続いて、笠原地域包括支援センターについてお願いします。 笠原包括は、区長会議で包括のPRしているのは他の包括にはないことです。ことあるごとに地域に出向き、アンテナを高くして情報収集し、相談に活用したりネットワークづくりにつないだりしています。各区の動きをよく把握されているようでした。
会長	外部評価を行った委員をお願いします。

委員	高齢者支援センターから包括支援センターに代わった経緯があり、年々相談件数が増え、困難ケースも増えていますが、職員は 3 名で、ぎりぎりであると感じました。執務室が独立しているかは△でしたが、見てきたところ、カウンターで地域の人は相談しやすいようでした。また、上原地区で有志による認知症になっても暮らせる町の地域支え合いの構想があり、今後は◎になる可能性もあると思います。コグニサイズの普及も考えてみえるので、浸透してくれば◎になると思います。
会長 事務局	最後に、精華地域包括支援センターについてお願いします。 平成 28 年度から開設された包括です。PR のために、多くの組織、団体に出向き説明されています。また、モデル的にマンション 1 棟を全室訪問し困りごとを聞きとり包括の PR をしました。その結果、相談が入るようになったということです。包括のスペースを地域交流の場や情報発信源としてより活用できるように検討していくと課題があげられていました。
会長 委員	外部評価を行った委員お願いします。 1 年目ということで自己評価は○でしたが、外部評価で◎をつけたところがあります。職員の質の向上は、自費でも積極的に研修に参加されています。チーム内の情報の共有も◎としました。地域の方との関わり合いがよくできているので◎としました。介護予防教室や民生委員定例会への出席などあり、地域の方を巻き込んで活動しています。
会長 委員 会長	事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。 困難事例は、答えがでないということですね。聞いてあげるだけですか。 聞いてあげるだけではなく、出ていってしまうような方には一緒に探して、その後入れるような施設を考えたり、消費者被害では法律の専門家につなげたりしています。
事務局	困難ケースについては、複数の問題が絡み合っているのので、包括が介入し関係機関と連携し、紐解いていきます。地域ケア会議がそれです。解決できてはいないですが、関係機関と連携し必要な支援につなげることは概ねできていると思われます。
委員	地域ケア会議では、関係機関、警察などに知っておいてもらいたいということも目的です。
会長	それでは、自己評価において、課題とされたことを解決できるよう期待します。みなさんで応援しましょう。
事務局	それでは、次の議題に入ります。議題 3. 平成 28 年度収支決算について、事務局から説明をお願いします。 —資料 4 に基づき説明— 社協（太平、滝呂、南姫、笠原）については社会福祉法人会計に則った報告となります。精華と違い、水道光熱費、印刷製本、修繕は社協で一括となっているので反映されていません。収入の 10% が施設管理に回すことになっているため、全体的には 280 万円ほどのプラスとなっています。受託事業収入の 40 万円は市より委託業務を受けたものです。 精華包括は一つの建物であるため建物管理の水道光熱費、保険料などの支出、また、新設のため机、パソコン等の物品購入があり、全体的に入出にあまり差がない状態であり黒とはいえない状態です。
会長	事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

委員	来年、包括が増えることにより南姫包括のプランナーさんは削減されるのでしょうか。
事務局	南姫包括には現在 3 職種の他にプランナーが 2 名いますが、プランの様子を見て人員の削減も考えています。ただ、笠原包括はプランナーなしでやっていることからバランスをとっていかうと考えています。
委員	4 つの包括の分を、社協が一括して出し入れしているのですか。
事務局	はい。そうです。
	収入の 10%は本部に回し、積立して地域福祉事業に使用しています。ボランティア育成や学校での福祉教育支援等に使用し地域還元しています。
会長	社協の中に退職給付費用とありますが、退職金の積み立てと考えてよいですか。精華包括はそれがありませんが、別の項目で退職金の積立はありますか。
事務局	法人の方で積立をしています。
会長	それでは、次の議題に入ります。議題 4. 北栄地域包括支援センターの選定状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	北栄地域包括支援センターは来年 1 月から、市内 6 ヶ所目として開設します。7 月 20 日に選定に係るプロポーザルを行い、現在決裁中です。
委員	応募はあったということで間違いないですね。
事務局	応募はありました。
委員	多治見市として何箇所設置しようとしていますか。これで最後ですか。
事務局	6 ヶ所で終了です。高齢者の 3000 人から 6000 人に 1 ヶ所設置という基準があります。現在、だいたいどの包括も 5000 人弱であり、南姫だけ 10000 人くらいのため、そこを 2 つにするものです。
会長	それでは、次の議題に入ります。議題 5. その他について、事務局から説明をお願いします。
事務局	—資料 5 に基づき説明—
会長	事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。
委員	委託料は支払うのですか。
事務局	1 件いくらかで支払います。
委員	委託する事業所はだんだん増えていきますか。
事務局	その年によって違います。昨年度は 40 ヶ所以上あったと思います。
委員	委託事業所には評価はしないのですか。よほど悪くなければ契約なしにはならないのですか。
事務局	そうです。利用者さんからの相談のなかでケアマネを交替してほしいとはありますが、事業所を替えたと言う事例はないです。
会長	その他、ご意見等ありませんか。
	今後も、平成 28 年度と同じように自己評価を行い、報告いただくことになります。これをもちまして、第 1 回地域包括支援センター運営協議会を終了します。